

1 基本情報

施設名称	大阪市立住之江スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和16年 3 月31日
評価対象期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.0%
達成率		108.8%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.9%	97.8%	1.1%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	85.6%	84.1%	1.5%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	29,321,960	31,559,086	674,960	追加設備点検の清算
	計画	28,647,000	28,647,000		
利用料金（使用料）収入	実績	4,704,220	3,545,640	21,920	計画通り
	計画	4,682,300	4,682,300		
自主事業収入	実績	3,817,607	3,491,506	-1,250,093	令和6年度末の改修工事に伴う長期臨時休館の影響もあり教室受講生が減少
	計画	5,067,700	5,067,700		
その他収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	37,843,787	38,596,232	-553,213	
	計画	38,397,000	38,397,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	14,110,661	12,678,338	496,261	計画通り
	計画	13,614,400	13,289,400		
物件費	実績	12,979,544	14,367,780	-667,456	計画通り
	計画	13,647,000	13,647,000		
修繕費	実績	1,825,050	3,010,870	-1,674,950	定期的なメンテナンスと自力での補修に努めたことで修繕費を抑えた
	計画	3,500,000	3,800,000		
自主事業支出	実績	2,687,736	2,144,636	-337,864	教室受講生の減少に伴う指導員の適正配置
	計画	3,025,600	3,050,600		
その他支出	実績	4,460,200	4,531,047	-149,800	計画通り
	計画	4,610,000	4,610,000		
合計	実績	36,063,191	36,732,671	-2,333,809	
	計画	38,397,000	38,397,000		

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	108.8%	B	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<div>・仕様書及び年度協定書を遵守し、効率的かつ適正な人員配置を行い、人件費の最適化を図った。</div> <div>・設備の運転状況を日常的に監視・管理し、収集データに基づき照明及び熱源・動力の運転時間を適切に制御した。</div> <div>・空調設備については事務所にて一括管理を行い、適正温度設定及び不要箇所の停止により省エネルギー化を図った。</div> <div>・予防保全に基づくメンテナンス計画の策定及び巡回・保守業務の効率化により、維持管理コストの最適化を図った。</div> <div>・設備及び用具の定期点検を実施し、劣化や破損の早期発見により軽微な補修での対応を行った。</div> <div>・消耗品の購入及び修繕にあたっては相見積もりを徹底し、適正価格での調達及び修繕を実施した。</div> <div>・消耗品の購入及び修繕にあたっては相見積もりを徹底し、適正価格での調達及び修繕を実施した。</div>	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<div>・利用者アンケートを実施し、利用者の意見及び要望の把握に努めた。</div> <div>・ご意見箱を設置するとともに、定期的な確認を行い、幅広く利用者の声の収集を図った。</div> <div>・寄せられた意見及び要望については、速やかに回答書を作成し館内掲示を行うことで、対応状況の可視化を図った。</div> <div>・接遇研修及び指導研修を実施し、職員の対応力向上を図ることで利用者満足度の向上に努めた。</div> <div>・受付窓口や日常のコミュニケーションを通じて利用者ニーズの把握に努め、意見や要望に対して迅速な対応を実施した。</div> <div>・利用者アンケートの結果、満足度は87.0%となり、目標を達成するとともに、適切な施設運営が図られていることを確認した。</div>
--

令和7年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

第1体育場の年間使用率は99%、第2体育場は86%、施設全体では92%と高い稼働水準を確保しており、一般利用については前年度を上回る稼働率となっている。特に第1体育場についてはほぼ利用余地がない水準に達していることから、今後は単純な稼働率向上のみを目標とするのではなく、第2体育場の時間帯別利用状況や利用種目を分析し、施設全体として利用機会を最適化する視点が重要である。
収支面では、利用料金収入約470万円、事業収入約382万円、業務代行料約2,865万円等を含む総収入約3,784万円に対し、支出は約3,606万円で、約178万円の収支プラスを確保している。利用料金収入はほぼ計画水準で推移した一方、事業収入は計画約507万円に対して約382万円と約75%にとどまっている。これは、前年度末の改修工事による臨時休館後、教室受講生が減少し、回復施策を講じたものの完全な回復に至らなかったことが主な要因とされている。教室等事業については、教室事業収入約306万円に対して支出約242万円で約64万円のプラス、開放DAYについても約22万円のプラスを確保しており、事業単体では一定の採算性を確保している。一方、教室別に見ると、バドミントン、ストレッチ&リズム、ジュニアスポーツ教室、リフレッシュヨガ等は黒字であるのに対し、卓球A・B、小学生運動教室は赤字となっており、教室間で収益性に差がみられる。
今後は、教室受講者数を単に改修前の水準に戻すことだけを目指とするのではなく、教室ごとの充足率、新規入会者数、継続率、退会率、収支及び公共的意義を併せて把握し、継続・改善を判断することが望まれる。特にビジターチケットについては導入後の利用が限定的であるとのことから、体験利用から本入会への転換という本来の役割を果たしているかを検証する必要がある。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	
市費の縮減		B	
管理運営の履行状況		B	
施設	施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		B	